第 12 日　　令和８年６月 22 日　月曜日

議事日程

第１　一般質問（通告順による）

【１】８番　徳久研二議員

１　令和７年度国の補正予算に伴う物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

（１）食料品などの物価高騰対策が令和７年度中に実施できなかったことについて

①　国の補正予算についての閣議決定から補正予算成立までの経過

②　内閣府地方創生推進室及び総務省自治財政局からの通知について、いつどういう内容の通知があったのか

③　市の補正予算計上が令和７年 12 月議会ではなく、令和８年３月議会になった理由

④　安芸市が実施するクーポンなどの対象事業が、令和７年度内に実施できなかった理由

⑤　物価高騰対応の実施時期が市町村によってばらばらになり、実施年度も異なることについて問題はないのか

⑥　年度替わりで転入・転出がある住民は、人によって、恩恵が２度ある人と、１度も恩恵がない人が出てくると思うが、問題はないのか

⑦　国の政策については、国民全員が一律に恩恵も損害も受けるべきではないか

⑧　国の臨時交付金の活用は、全市町村が同一年度内に実施できるように安芸市も取り組むべきではないか

【２】４番　宇田卓志議員

１　安芸市健康ふれあいセンター「元気館」の入浴施設の改廃について

（１）入浴施設の現状を伺う

（２）安芸市健康ふれあいセンター条例によると、「その目的を達成するため」として入浴施設が置かれている。事業内容、事業効果、目的、現況を伺う

（３）1998 年（28 年前）に６億 4,637 万 3,000 円の事業費で建設され、国、県から 4,500 万円の財源が支出されているが、市単独で施設の改廃ができるか

（４）令和７年度健康ふれあいセンター運営委員会について伺う。入浴施設を止める（やめる、とめる）ことをいつどのようにして決定したか

（５）老朽化調査の期間は、令和７年 10 月１日から令和８年３月 31 日として入浴施設は休業しているが、調査結果を伺う

２　建築基準法第 12 条特定建築物の安全点検と報告の義務について

（１）安芸市内に対象となる建築物はどこにどれだけあるか

（２）安芸市は安全点検と報告を適法に行っているか伺う

（３）今後の対策について伺う

３　大規模災害時の「道路啓開」計画について

（１）国土交通省による災害時の道路啓開計画（災害時に道路を塞ぐ車両や瓦礫を撤去し救援ルートを確保する）が発表されている。安芸市の道路啓開計画は明確になっているか伺う

（２）一般市民への公表はいつどのように行うか伺う

【３】10 番　川島憲彦議員

１　小学校統廃合問題

（１）高知新聞声ひろば記事について

①　４月 20 日と６月５日の記事は読んだのか、読んだとすればその感想はどのようなものか伺う

イ　「成長に応じた教育環境を」と題し子供は地域に育てられ、家族・近所の人に見守られ育っている。子供には成長段階に見合った広さ、世界がある。安芸市は２校か１校かの統合を進めている。小学校は地域の宝。見守り育て、地域、安芸市の未来がそこにある。各地域に小学校を残しましょうとの内容だ。これまで地域の小学校が果たしてきた役割を伺う

ロ　「学校の適正規模は何のため」と題した投稿は、統廃合で出てくるのは「学校の適正規模」という考え方だ。その規模でなければ子供は適正に育たないのか。そんなことはない。小規模でも個性豊かに健やかに育ち、学力テストでも低いと聞いたことがない。適正規模は教育行政が合理的に施策を進めるための理屈だ。統廃合は子供の数の問題かのように言うが教育は受ける権利であり、基本的人権の問題であることを肝に銘じたいとの内容だ。地元の学校に通いたいと願う権利について行政の考えを伺う

（２）小学校統合を１校とした問題について

①　小学校は児童を育む教育の場であることを大前提とし、児童の学びの環境の充実を検討の中心として総合的に検討した結果、１校体制が妥当の判断に至ったと理由に述べているが何をどのように検討したのか明らかにしていない。説明会には参加者から小学校を残すべきではないかとの意見が各地域から出ているがどのように検討したのか伺う

②　目的として児童が減少する中であっても将来を見通し、教育の質と持続可能性を確保し、教育予算の集中投資により、学びと教育の質を向上させるとあるが、地域衰退・人口減少の加速化と子育て世代の流出が進み、産業の後退などの負の傾向を招く恐れがあるがどのような判断をしたのか伺う

③　教育の質の確保を学校統合で行うべきと理由に挙げているが、最も教育の基本はどこにいても十分な教育を受ける権利の保障ではないのか。各地の課題解決に努力するの

が行政の行うべき努力と思うが認識を伺う

④　統合しなければ学校運営での教員の負担増になるなどの記述があるが、不登校・いじめ等の対策や分かりやすい授業の確保等は欠かせない。大人数の学校より少人数の学校運営が子供に寄り添う教育がより可能性が高いと求められている。この対応が重要と思うが考えを伺う

２　市民の暮らしと営業支援

（１）ホルムズ海峡封鎖の影響での価格高騰・品薄にて暮らしと営業が厳しくなっている。この状況をどのように把握し今後の支援への対応を伺う

（２）世界各地における戦争がこの状況をつくり出している。一日も早い戦争終結のために平和憲法を持つ国として各国に働きかけることが重要と考える。また、国・県の力で今の厳しい暮らし支援と営業への支援は欠かせない。平和と景気回復への取組を安芸市行政として働きかけるのか対応を伺う

３　高齢世帯への粗大ごみ対策

（１）現状の対応はどのようにしているのか伺う

（２）高齢者のみの世帯では搬出が困難な家庭もあるが対応を伺う

（３）高齢化社会の中で搬出支援対策が欠かせないと思うが、今後の対応を伺う

【４】９番　山下　裕議員

１　市政全般について

（１）観光振興について

①　大型連休での観光客数について

②　サイクリングロードの着工について

（２）全日本大学女子硬式野球春季大会について

①　参加チーム数の状況について

②　安芸市の受入れ状況について

③　今後の課題について

（３）小学校の統廃合について

①　１校案と２校案について

②　検討委員会の答申案について

③　小規模校への取組について

（４）自転車の交通ルールについて

①　昨年度の自転車事故数について

②　青切符制度について

③　小中学生の自転車指導について

（５）防災について

① 避難タワーの外壁増設について
② 南海トラフ地震の被害想定について
③ 避難場所・避難所の整備について
④ 事前復興計画について
⑤ 災害時のドローンの活用について

【５】２番　徳広洋子議員

１　安芸市里山林整備事業について
（１）事業の目的と財源、事業内容を伺う
（２）補助金制度について伺う
２　地域猫活動について
（１）地域猫ボランティア団体との協働について伺う
（２）捕獲器の必要数について伺う
３　本市の安心・安全対策について
（１）本市の老朽空き家における適正管理に向けた取組と今後の対策を伺う
（２）管理不全な空き地における雑草繁茂への対策について伺う
４　本市の防犯対策について
（１）防犯カメラ設置状況を伺う
（２）防犯灯・防犯カメラ等の必要性と今後の取組を伺う

【６】５番　小松進也議員

１　市長の施政方針について
（１）市長開会挨拶と議員協議会での小学校移転・統合について
① 小学校は１校体制なのか２校体制なのか
② その決定理由について問う
③ 特色ある小規模認定校１校とはどのようなものか問う
④ 小中連携の強みを最大限発揮とはどのようなものか
⑤ 市内はもとより県内外からも選ばれる魅力ある学校とは。新小学校はどのような教育と教育環境が子供たちに提供できるのか
⑥ 通学支援・通学バスについての考えと事業の概算計画を問う
⑦ 学校が地域コミュニティーの場として果たしてきた役割を踏まえ、地域とのつながりの維持について検討を進めるとは
⑧ 地域の公民館を核とした放課後児童クラブ等を併設した地域コミュニティーの場の検討をしてはどうか
⑨ 令和８年３月末時点の０歳児人口は 38 人を聞いての市長の考えを聞く

議員出欠状況

議員定数 14 人

出席議員 14 人

１番	長野弘昌 議員	２番	徳広洋子 議員
３番	佐藤倫与 議員	４番	宇田卓志 議員
５番	小松進也 議員	６番	藤田伸也 議員
７番	小松　進 議員	８番	徳久研二 議員
９番	山下　裕 議員	１０番	川島憲彦 議員
１１番	山下正浩 議員	１２番	小松文人 議員
１３番	尾原進一 議員	１４番	千光士伊勢男 議員

説明のため出席した者

市長	西内直彦	副市長	植野浩二
教育長	清水明宏	総務課長	大坪　純
企画調整課長	大野　崇	財産管理課長	千光士　学
税務課長	北村朋美	市民保険課長	陰山佳代
健康介護課長	国藤美紀子	環境課長	長野信之
福祉事務所長	角田　淳	農林課長兼農業委員会事務局長	三宮一仁
商工観光水産課長	中川　亮	建設課長兼自動車道推進室長	近藤雅彦
上下水道課長	仲田裕介	危機管理課長	小松正浩
教育次長兼学校教育課長	大坪浩久	学校教育課参事兼学校給食センター所長	樋口雅文
生涯学習課長兼少年育成センター所長兼女性の家館長兼図書館長	宇根祥智	消防長	島﨑雅行
消防本部次長兼消防課長兼消防署長	公文敬三		

職務のため議場に出席した事務局職員

事務局長	藤田隆史	議事調査係長	中西宏文
主幹	野町あゆみ		

本日の会議に付した事件

日程第１　一般質問